

## 学術年会

## 第21回日本免疫毒性学会学術年会講演一覧

|   |                              |   |
|---|------------------------------|---|
| 特別講演 I  |                              |   |
| Immunogenicity assessment of biotechnology-derived pharmaceuticals              | Marc Pallardy                | Toxicology Department and INSERM UMR 996, Faculty of Pharmacy, University Paris-Súd, France |
| 特別講演 II   |                              |   |
| 亜鉛欠乏による皮膚炎発症メカニズム   | 川村龍吉                         | 山梨大学医学部 皮膚科学講座  |
| 教育講演  |                              |   |
| 高IgE症候群の病因と病態の解明  | 峯岸克行                         | 徳島大学疾患プロテオゲノム研究センター 病態プロテオゲノム分野   |
| シンポジウム 「次世代の免疫毒性研究を考える」   |                              |   |
| オーガナザー<br>西村泰光 (川崎医科大学)<br>中村亮介 (国立医薬品食品衛生研究所)<br>小池英子 (国立環境研究所)<br>吉岡靖雄 (大阪大学) |                              |   |
| 生命システムの動態をネットワーク構造のみから理解する  | 望月敦史(1), Bernold Fiedler(2)  | (1)理化学研究所 望月理論生物学研究室, (2)Department of Mathematics, Free University of Berlin, Germany.     |
| 有機小分子と蛋白質の相互作用を直接的・間接的に検出する   | 叶 直樹                         | 東北大学大学院薬学研究科  |
| 肥満に伴う全身性炎症性病態における脾臓由来IL-10の役割   | 後藤孔郎, 柴田洋孝                   | 大分大学医学部 内分泌代謝・膠原病・腎臓内科学講座   |
| ワクチンの副作用は予測できるか? 安全なアジュバントとバイオマーカー開発の新展開  | 石井健(1),(2)                   | (1)独立行政法人医薬基盤研究所 アジュバント開発プロジェクト, (2)大阪大学免疫学フロンティア研究センター ワクチン学                               |
| 試験法ワークショップ 「アレルギーと自己免疫疾患の新たな試験法を目指して」   |                              |   |
| バイオ医薬品の投与により発症する自己免疫疾患, 免疫系を介した副作用  | 井上 智彰                        | 中外製薬株式会社 研究本部 安全性研究部  |
| 抗甲状腺薬投与ラットにおける自己抗体産生を示唆する脾臓病変   | 福井元子(1), 磯部充威(1), 久田 茂(2)    | あすか製薬株式会社 (1)安全性研究部, (2)研究開発センター  |
| 食物アレルギーの経皮感作による即時型アレルギーモデル  | 安達玲子, 酒井信夫, 手島玲子             | 国立医薬品食品衛生研究所  |
| 大気中の粒子状化学物質により誘発される呼吸器アレルギー検  | 西野里沙子, 福山朋季, 渡部優子, 上田英夫, 小坂忠 | 一般財団法人残留農薬研究所   |

|   |   |   |
|---|---|---|
| 出法における検討  | 司, 原田孝則   |   |
| 学会賞授賞講演   |   |   |
| 重金属を中心とする環境物質による免疫毒性の特性と評価  | 大沢基保(1), (2)  | (1)一般財団法人食品薬品安全センター 秦野研究所 (2)帝京大学   |
| 一般演題 (口頭発表)   |   |   |
| チタン酸ナノシート曝露による末梢血単核球の細胞死  | 西村泰光(1), 吉岡大輔(2), 李順姫(1), 松崎秀紀(1), 武井直子(1), 吉留敬(1), 大槻剛巳(1)   | (1)川崎医科大学 衛生学, (2)川崎医科大学 自然科学   |
| 粒子による内因性アジュバントの誘導とアレルギー性炎症  | 黒田悦史(1), 森本泰夫(2), 石井健(1),(3)  | (1)大阪大学免疫学フロンティア研究センター ワクチン学, (2)産業医科大学産業生態科学研究所 呼吸病態学, (3)独立行政法人医薬基盤研究所 アジュバント開発プロジェクト |
| ナノ粒子の母乳を介した乳幼児への移行性及び生体影響評価   | 吉岡靖雄(1),(2), 森下裕貴(1), 瀧村優也(1), 角田慎一(2),(3), 東阪和馬(1), (2), 堤康央(1),(3)  | (1)大阪大学大学院薬学研究科 毒性学分野, (2)独立行政法人医薬基盤研究所 バイオ創薬プロジェクト, (3)大阪大学臨床医工学融合研究教育センター             |
| Phagocytosis of Indium Tin Oxide Nanoparticles by Alveolar Macrophages triggers a pro-inflammatory response | Basilua Andre Muzembo, Abderrahim Naji, 菅沼成文  | 高知大学教育研究部 医療学系連携医学部門  |
| Aphanothece sacrum から抽出された巨大多糖類サクランのTNCB塗布NC/NGA マウスにおけるFilaggrin, IL-13, IL-33, TNF- $\alpha$ mRNAの発現抑制効果  | 弘田量二(1), Ngatu Nlandu Roger(2), 岡島(金子)麻衣子(3), 金子達雄(3), 菅沼成文(1)  | (1)高知大学教育研究部 医療学系連携医学部門, (2)高知県立大学大学院看護学研究科, (3)北陸先端科学技術大学院大学 マテリアルサイエンス研究科             |
| マウス痒評価系における搔破行動に及ぼす性差の影響  | 山浦克典, 伴野綾奈, 佐藤洋美, 上野光一  | 千葉大学大学院薬学研究院 高齢者薬剤学   |
| 動物実験 (LLNA) データのみから作成した皮膚感作性定性的構造毒性相関 (QSTR)モデル   | 佐藤一博(1), 日下幸則(1), 湯田浩太郎(2)  | (1)福井大学医学部 環境保健学, (2)株式会社インシリコデータ   |
| 環境粒子貪食レセプター (MARCO) のオートファゴソームへの輸送機序  | 平野靖史郎(1), 菅野さな枝(2)  | (1)国立環境研究所 環境リスク, (2)聖マリアンナ医科大学 法医学   |
| ビスフェノールAの経気道曝露がアレルギー性気道炎症モデルマウスの免疫系および神経系に及ぼす影響   | 小池英子(1), 柳澤利枝(1), Tin Tin Win Shwe(1), 高野裕久(2)  | (1)独立行政法人国立環境研究所 環境健康研究センター, (2)京都大学大学院工学研究科 環境衛生学講座                                    |
| IL6R遺伝子型の機能的意義および原爆被爆者に発生する大腸がんリスクの遺伝子型別検討  | 林奉権(1), 胡軼群(1), 森下ゆかり(1), 佐々木圭子(1), 牧真由美(1), 古土井圭子(1), 長村浩子(1), 吉田健吾(1), 梶村順子(1), 大石和佳(2), 飛田あゆみ(2), 林幾江(3), 京泉誠之 | 放射線影響研究所 (1)放射線生物学/分子疫学部, (2)臨床研究部, (3)広島大学歯学部中央研究室                                     |

|   |  |   |
|---|--|---|
|   | (1), 楠洋一郎(1), 中地敬(1)   |   |
| 学生・若手発表(口頭ならびにポスター発表)                                     |  |   |
| PM2.5成分が呼吸器系・免疫系細胞に及ぼす影響の検討                               | 福嶋渉, 大石瑞貴, 本田晶子, 辻堅志, 澤原隆紘, 林智裕, 工藤仁美, 上田佳代, 高野裕久  | 京都大学大学院工学研究科 環境衛生学講座  |
| 金属アレルギー発症におけるナノ粒子の役割                                      | 平井敏郎(1), 吉岡靖雄(1), (2), 市橋宏一(1), 和泉夏実(1), 西島伸郎(1), 半田貴之(1), 高橋秀樹(1), 角田慎一(2),(3), 東阪和馬(1),(2), 堤 康央(1),(3)                                | (1)大阪大学大学院薬学研究所 毒性学分野, (2)独立行政法人医薬基盤研究所 バイオ創薬プロジェクト, (3)大阪大学臨床医工学融合研究教育センター   |
| 日本人のステーブンス・ジョンソン症候群及び中毒性表皮壊死症患者における重症眼粘膜障害発症に関連する医薬品の傾向   | 内田好海(1), 鹿庭なほ子(1), 上田真由美(2), 中村亮介(1), 杉山永見子(1), 高橋幸利(3), 古谷博和(4), 矢上晶子(5), 松倉節子(6), 池澤善郎(7), 松永佳世子(5), 外園千恵(2), 相原道子(6), 木下茂(2), 斎藤嘉朗(1) | (1)国立医薬品食品衛生研究所 医薬安全科学部, (2)京都府立医科大学 眼科学, (3)静岡てんかん・神経医療センター, (4)高知大学医学部 神経内科, (5)藤田保健衛生大学 皮膚科学, (6)横浜市立大学 医学部 皮膚科学, (7)国際医療福祉大学 熱海病院 皮膚科 |
| ヒスタミンH4受容体拮抗薬の長期外用ステロイド療法に伴う痒予防の有用性                       | 小沼盛司, 山浦克典, 大石信雄, 船越彩花, 佐藤洋美, 上野光一   | 千葉大学大学院薬学研究院 高齢者薬剤学研究室  |
| 酸化オリブ油がマウスリンパ球および腹腔マクロファージに及ぼす影響                          | 荻野泰史, 別當知佐, 南愛衣, 荒川友博, 奥野智史, 上野仁   | 摂南大学薬学部 公衆衛生学研究室  |
| 一般演題(ポスター発表)  |  |   |
| 妊娠期カーボンブラックナノ粒子曝露による母体の肺と出生仔脾臓への影響                        | 吉田英美果(1), 小野田淳人(1), 吉川洋一郎(1), 武田健(2), 梅澤雅和(2)  | (1)東京理科大学大学院薬学研究科, (2)東京理科大学総合研究機構 戦略的環境次世代健康科学研究基盤センター   |
| 自己免疫疾患未発症珪肺症例における血中DcR3値と他の自己抗体値や呼吸機能検査値との関連              | 李順姫, 西村泰光, 山本祥子, 幡山圭代, 松崎秀紀, 武井直子, 吉留敬, 大槻剛巳   | 川崎医科大学 衛生学  |
| ヒトT細胞株MT-2細胞に対するアスベスト長期曝露の影響                              | 松崎秀紀(1), 李順姫(1), 前田恵(2), 武井直子(1), 西村泰光(1), 大槻剛巳(1)   | (1)川崎医科大学 衛生学, (2)岡山大学大学院自然科学研究科 バイオサイエンス専攻生物機能化学講座   |
| マイナス荷電粒子優位の室内環境による免疫影響の長期モニターによる検討                        | 大槻剛巳, 武井直子, 松崎秀紀, 李順姫, 吉留敬, 西村泰光   | 川崎医科大学 衛生学  |
| 肥満細胞が粒子状物質誘発呼吸器アレルギーにおよぼす影響                               | 西野里沙子, 福山朋季, 渡部優子, 黒澤好, 上田英夫, 小坂忠司, 原田孝則   | 一般財団法人残留農薬研究所   |
| 「風邪薬」による重症眼粘膜障害を伴うステーブンス・ジョンソン症候群及び中毒性表皮壊死症発症に関連するHLAについて | 中村亮介(1), 鹿庭なほ子(1), 上田真由美(2), 外園千恵(2), 杉山永見子(1), 前川京子(1), 内田好海(1), 矢上晶子(3), 松倉節子(4), 池澤善郎(5), 松永  | (1)国立医薬品食品衛生研究所 医薬安全科学部, (2)京都府立医科大学 眼科学, (3)藤田保健衛生大学医学部 皮膚科学, (4)横浜市立大学医学部 皮膚科学, (5)国際医療福祉大学 熱   |

|  |   |   |
|--|---|---|
|  | 佳世子(4), 徳永勝士(6), 相原道子(4), 木下 茂(2), 斎藤嘉朗(1)  | 海病院 皮膚科, (6)東京大学医学部 人類遺伝学   |
| 低用量フタル酸エステル曝露による自己免疫性精巣炎への影響   | 寺山隼人(1), 坂部貢(1), 平井宗一(2), 内藤宗和(3), 曲寧(2), 倉升三幸(2), 小川夕輝(2), 畑山直之(2), 林省吾(2), 古谷祐生子(1), 金沢輝久(1), 伊藤正裕(2) | (1)東海大学医学部 基礎医学系生体構造機能学, (2)東京医科大学 人体構造学分野, (3)愛知医科大学医学部 解剖学講座                  |
| ホルマリンアレルギー症例の解析: 診断における好塩基球脱顆粒試験の有用性について   | 田中祐輔(1), 中瀬裕子(1), 杉本直也(1), 五十嵐彩夏(1), 新井秀宜(1), 小原研心(2), 長瀬洋之(1), 山口正雄(1), 大田 健(1), (3)                   | (1)帝京大学医学部 呼吸器・アレルギー-内科, (2)帝京大学医学部 歯科口腔外科, (3)国立病院機構東京病院                       |
| 美容目的の鋳物油注射後に発症したリウマチ性疾患患者と鋳物油投与自己免疫マウスモデルの自己抗体特異性  | 佐藤実(1), 田中晋(2), 保利一(3), 黒田嘉紀(4)   | 産業医科大学産業保健学部 (1)成人老年看護学講座, (2)人間情報科学, (3)作業環境計測制御学, (4)宮崎大学医学部 社会医学講座 公衆衛生学分野   |
| フッ素水曝露における尿管閉塞モデルラットの腎間質へのマクロファージ浸潤に関する検討  | 木戸尊将(1), 角田正史(2), 菅谷ちえ美(2), 羽野寛(3), 柳澤裕之(1)   | (1)東京慈恵会医科大学 環境保健医学講座, (2)北里大学医学部 衛生学, (3)東京慈恵会医科大学                             |
| 免疫毒性評価のためのマウスTDAR法開発の試み  | 後藤玄, 藤澤賢一, 宝里英和, 望月雅裕, 大石巧  | 株式会社ボゾリサーチセンター 御殿場研究所   |
| 嗅球摘出マウスモデルに対するMagnololの効果の検討   | 赤江悠(1), 平島奈奈(1), 松井敦聡(1), 福石信之(1), 福山愛保(2), 赤木正明(1)   | 徳島文理大学薬学部 (1)薬理学教室, (2)薬品物理化学教室   |
| TGF-β刺激による肥満細胞のc-Kit表面発現変化における細胞内情報伝達系の解明  | 長谷川梨紗, 福石信之, 照屋勇人, 幡洋輔, 吉田深香, 赤木正明  | 徳島文理大学薬学部 薬理学教室   |
| トリフェニルスズの全身免疫系に対する加齢化促進作用の検討   | 廣森洋平(1),(2), 酒井紀行(1), 小林亮(1), 上代大地(1), 中西剛(1), 永瀬久光(1)  | (1)岐阜薬科大学, (2)金城学院大学薬学部   |
| 神経細胞におけるTNFαおよびIL-1βによるマンガン蓄積の増加   | 藤代瞳, 北山朝樹, 姫野誠一郎  | 徳島文理大学薬学部 衛生化学講座  |
| IL-2によるNK細胞活性化に対する亜ヒ酸の影響   | 角 大悟, 原田久美, 姫野誠一郎   | 徳島文理大学薬学部 衛生化学講座  |
| 亜ヒ酸はNK細胞の細胞障害性を減弱させる   | 角 大悟, 小川智子, 姫野誠一郎   | 徳島文理大学薬学部 衛生化学講座  |
| 亜ヒ酸はJurkat細胞のIL-8産生を亢進させる  | 角 大悟, 山近杏奈, 姫野誠一郎   | 徳島文理大学薬学部 衛生化学講座  |
| ランチオンセミナー 1  |   |   |
| Reducing immunogenicity in a T-cell dependent antibody response (TDAR) in cynomolgus monkeys leads | Sylwia Marshall(((1))), Gregory Bannish2, Meredith Perpetua2, Tracy Ziegelhofer2, John                  | (1)Huntingdon Life Sciences, Cambridgeshire, United Kingdom, (2)Huntingdon Life |

|   |   |   |
|---|---|---|
| to a sensitive assessment of immunosuppression by Abatacept (CTLA4-Ig)              | Doughty <sup>2</sup> , Aidan Curran <sup>2</sup> , Lee Coney(((1))) | Sciences, East Millstone, NJ, United States             |
| ランチョンセミナー 2   |   |   |
| Development of assays to monitor the immunotoxicity and efficacy of biotherapeutics | Marie-Soleil Piche  | Science Director Immunology, Charles River Laboratories |